

復興加速化・安全安心な県づくり特別委員会

会議記録（第10号）

令和5年 7月 3日

福島県議会

1 日時

令和5年 7月 3日 (月曜)

午前 10時30分 開会

午前 10時39分 閉会

2 場所

第一特別委員会室

3 会議に付した事件

- (1) 復興の加速化について
- (2) 安全安心な県づくりについて
- (3) 上記(1)及び(2)に関連する事項

4 出席委員

委員長	円谷健市	副委員長	水野透
副委員長	大場秀樹	委員	満山喜一
委員	古市三久	委員	宮川えみ子
委員	安部泰男	委員	宮川政夫
委員	高宮光敏	委員	橋本徹
委員	江花圭司	委員	山内長
委員	佐々木恵寿		

5 議事の経過概要

(午前 10時30分 開会)

円谷健市委員長

出席委員が定足数に達しているので、ただいまから復興加速化・安全安心な県づくり特別委員会を開会する。

初めに、会議録署名委員の選任について諮る。

会議録署名委員は、委員長指名で異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

円谷健市委員長

異議ないと認め、高宮光敏委員、橋本徹委員を指名する。

次に、本日の会議運営について諮る。

初めに、調査報告書(案)について審議を行った後、本委員会の調査終結について諮り、さらに調査報告書の取りまとめを行うという順序で進めたいと思うが、いかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

円谷健市委員長

それでは、そのように進める。

なお、本日の会議にはあらかじめ、企画調整部長及び関係部局の職員の出席を求めているので、了承願う。

それでは、本日の議事に入る。

初めに、調査報告書(案)については、6月14日の委員会での意見を踏まえ、去る6月22日の理事会での審議を経たものを資料1のとおり配付しているため、内容について、書記に説明させる。

事務局書記

(別紙「資料1」により説明)

円谷健市委員長

それでは、この内容でよろしければ、調査報告書(案)として諮りたいと思うが、いかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

円谷健市委員長

それでは、そのように進める。

続いて、本委員会の終結について諮る。

本委員会の調査については、今定例会をもって終結することを目途に鋭意、調査を行ってきたところであるが、付議事件の調査については概ねその目的を果たしたものである。

したがって、本委員会の調査は今定例会をもって終結したいと思うが、いかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

円谷健市委員長

それでは、そのように決定する。

次に、調査報告書について諮る。

委員会における調査が終結した場合、会議規則第76条の規定に基づき、委員会調査報告書を提出することになっている。

ついては、本日配付している調査報告書(案)をもって委員会の調査報告書としてほしいと思うが、いかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

円谷健市委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

なお、会議規則第40条第1項により、委員長が調査の経過及び結果を本会議場で報告することになるが、その案文については正副委員長に一任願う。

本日の委員会終了後、正副委員長及び理事により、議長に対し調査結果報告を行うこととするので、併せて了承願う。

以上で本日の日程を終了したいと思うが、本委員会の終結に当たり、一言挨拶を述べる。

本委員会は、「復興加速化・安全安心な県づくり」について調査するために、令和3年12月21日に設置され、本日まで調査活動を行ってきた。

何分限られた期間における調査であり、付議事件のすべての問題について議論を尽くすことは困難であったが、この間委員の皆様においては、格別の精励を賜り、実りのある調査活動が行えたことを心より感謝を述べる。

本委員会では、復興加速化・安全安心な県づくりに向けた施策の強化に取り組むため、本県が最優先課題の一つとして取り組むべき避難地域の復興・再生や風評・風化対策、防災・災害対応や県民生活の安全・安心など、広範に提言等をまとめることができた。

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故という未曾有の複合災害の発生から12年以上が経過し、F-R-E-Iの開所や福島特措法の改正に伴い特定帰還居住区域が創設され帰還困難区域全体の避難指示解除が進む一方で、真の復興に

は道半ばである状況にあり、様々な中長期的な対応が必要である。

また、福島第一原発・第二原発の廃炉、除染等を鋭意進めて、原発事故の収束と避難地域の環境回復を促進するとともに、科学的な事実に基づく情報を積極的に発信することで、万全な風評対策に取り組むことが重要である。

さらに、避難指示が解除された地域の生活環境を整備するとともに、人口減少の加速化や車社会の進展により地方に住む高齢者等の生活弱者を守る施策など、総合的な施策をきめ細やかに展開することが求められている。

本委員会における調査は今定例会をもって終結するが、今回の調査報告書で取り上げた提言等が具現化され、県民の帰還や産業の振興が進み、避難地域の復興が加速するとともに、すべての県民が安心して生活を送ることができるよう、委員の皆様には、今後ともなお一層の尽力を願う。

終わりに、本委員会の調査活動に特段の協力をいただいた企画調整部、その他関係部局の皆様に対し、心から御礼を述べて委員会終結に当たっての挨拶とする。

以上で、本日の復興加速化・安全安心な県づくり特別委員会を閉会する。

(午前 10時39分 閉会)